

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	よつもと ひるあき 四元博晃	所属・職名	健康福祉学部健康栄養学科・准教授	
専門領域	栄養化学	学位称号	博士（農学）．1999（平11）	
最終学歴	1999（平11）鹿児島大学大学院連合農学研究科生物資源利用科学専攻（博士課程）修了			
資格・免許等				
教育上の能力に関する事項				
担当科目	<u>1. 学部</u> 生化学Ⅱ、基礎臨床実習 <u>2. 大学院</u> 基礎栄養学特論、健康福祉総合演習 A <u>3. 短期大学部</u> 基礎栄養学			
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等	<u>1. 動物実験を通じた生体への興味・関心と理解の促進</u> 管理栄養士は、生体から得られる情報（例えば、体重の増減や血清成分の変化など）と、さらに背景にある情報（生活習慣など）を基に、生体内での代謝変動を的確に把握する必要がある。そのためには、まず生体そのものに興味・関心を抱き、さらに体内の仕組みについて理解する必要がある。基礎臨床実習では、ヒトと相同性のある実験動物を用いて、食事条件の変化や病態等が生体内にどのような変化を及ぼすかについて検討させている。この実験を通して、学生は各検査項目の意義等について理解し、また同じ条件で飼育した動物間でも体重変化や血清成分等に個体差があることや得られたデータを読み取る力の基礎を身につけている。また、動物を解剖することで、体長に対する内臓の大きさの割合や配置について立体的に理解できている。 <u>2. 学生のニーズに対応した国家試験対策の実施</u> 管理栄養士国家試験の出題分野の中で「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」は学生が苦手とする分野の一つである。健康栄養学科 4 年生より、この分野に関する国家試験対策の要望を受け、学生と相談した結果、正規の授業時間以外の時間で都合の合う日時を設定し、講義を実施した。この対策講座では、受講を希望する学生を対象とし、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」の分野の中でとくに学生が学びたがっている項目について聞き出し、前期の間全 13 回シリーズで実施した。			
職務上の実績に関する事項				
研究業績等に関する事項				
《 平成19年度～平成23年度 》				
著書・学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月	

〔学術論文〕				
1. シモン芋のラット血清脂質濃度に及ぼす影響	共著	永原学園西九州大学・佐賀短期大学紀要, 38 , 43-46	2008 (平 20). 3	
2. 食育実践への取組 (第 1 報)	共著	永原学園西九州大学・佐賀短期大学紀要, 38 , 53-68	2008 (平 20). 3	
3. 佐賀短期大学における初年次教育の取り組みとその評価 ―一般教育科目「あすなろう」への学生による授業評価から―	共著	永原学園西九州大学・佐賀短期大学紀要, 39 , 13-18	2009 (平 21). 3	
4. S 高校生の体組成と食物摂取状況	共著	永原学園西九州大学・佐賀短期大学紀要, 39 , 19-30	2009 (平 21). 3	
〔学会発表〕				
1. スサビノリ由来ポルフィランの脂肪低減効果に関する研究	共同	日本食品科学工学会 56 回大会, p104	2009 (平 21). 9	
2. 壮年期女性の就業状況と健康に対する意識及び健康行動との関係	共同	平成 23 年度 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本食品化学工学会西日本支部 合同大会, p31	2011 (平 23). 9	
研究助成等	私立大学教育研究高度化推進特別補助 2007			
学会及び社会における活動等				
<p>【学会】</p> <p>日本農芸化学会 日本栄養・食糧学会 (九州・沖縄支部評議員、2005～現在) 日本油化学会</p> <p>【社会活動】</p> <p>地域イノベーション研究推進委員 (2009～2011)</p>				